

ニッセイ インターネットアンケート ～11月:「年金」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ（<http://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「年金」に関するアンケート調査を実施いたしました。

来月は「クリスマス」に関するアンケート調査結果を発表いたしますので、ご期待ください。

《調査概要》

- 調査期間：平成26年10月1日（水）～10月26日（日）
- 実施方法：インターネット（PC・携帯電話モバイルサイト）による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：16,919名（男性：9,650名、女性：7,269名）

＜年代別回答者数＞

		(名, %)						
年代		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
	男性	480	1,557	3,123	2,740	1,312	438	9,650
	女性	599	1,419	2,218	1,865	886	282	7,269
	合計	1,079	2,976	5,341	4,605	2,198	720	16,919
	占率	6.4	17.6	31.6	27.2	13.0	4.3	100.0

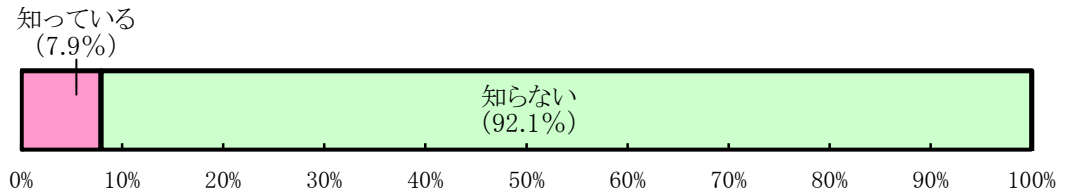
- 質問1：11月30日は厚生労働省が制定した「年金の日」となっていますが、ご存知ですか？
- 質問2：老後に国からの年金を毎月どのくらい受け取れると思いますか？
- 質問3：老後の生活費が毎月どのくらい必要だと思いますか？
- 質問4：老後の資金として、公的年金以外にご自身で準備を進めていますか？
- 質問5：主にどのような方法で準備を進めていますか？
- 質問6：準備を進めていない理由は何ですか？

口質問 1 11月30日は厚生労働省が制定した「年金の日」となっていますが、ご存知ですか？

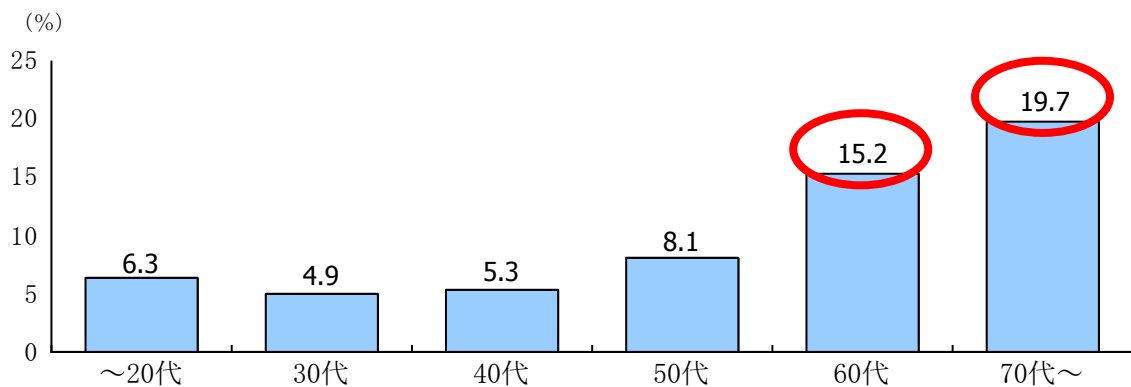
(回答者数：16,919名)

- 「知っている」と回答した方は、7.9%。約9割は「知らない」と回答。
- 年代別では、年金受給者が多くなる60代以降で「知っている」と回答した占率が高くなり、60代で約15%、70代以降は約20%を占める結果となった。

<全年代>



<年代別> 「知っている」と回答した方の占率



<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>



- 「国民お一人お一人、『ねんきんネット』等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、今年から11月30日（いいみらい）が「年金の日」とされました。
- 「年金の日」は制定されたばかりなのでご存じない方も多いと思いますが、これまでも11月は「ねんきん月間」として出張相談等が行われています。
- 今年の11月30日は日曜ですが、全国の「年金事務所」や「街角の年金相談センター」で年金相談が実施され、街頭でのイベントも行われる予定です（一部を除く）。この機会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

いい みらい
11月30日は「年金の日」
「ねんきんネット」で
未来の生活設計について
考えてみませんか？

(出典)厚生労働省ホームページ

<厚生労働省ホームページ>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000052617.html>

<日本年金機構ホームページ>

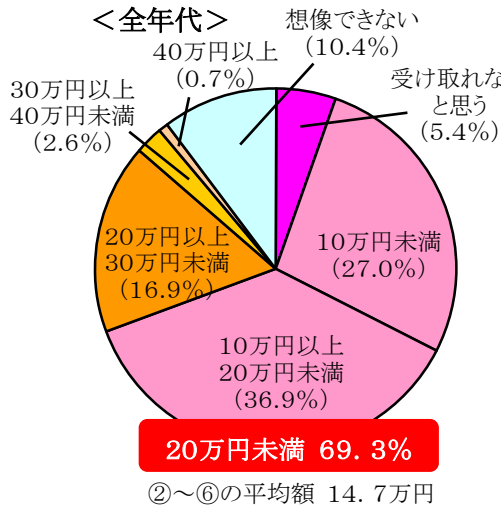
<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=28369>

(一般社団法人 生命保険協会は「年金の日」の趣旨に賛同しています。)

口質問2 老後に国からの年金を毎月どのくらい受け取れると思いますか？
(結婚されている場合は夫婦の合計をお答えください)

(回答者数：16,718名)

- 「20万円未満」と回答した方は、全体の約7割を占める。
- 年代別では、年代が若い方が20万円未満と回答した割合が高い結果となった。
また、「受け取れないと思う」と回答した方は、20代・30代では1～2割を占めた。



<年代別>

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
①受け取れないと思う	17.4	10.6	5.5	1.8	0.8	1.3
②10万円未満	30.3	33.3	29.1	25.2	18.6	17.5
③10万円以上20万円未満	28.7	32.4	38.8	40.4	36.0	33.9
④20万円以上30万円未満	5.2	9.9	12.7	19.6	32.9	30.4
⑤30万円以上40万円未満	0.6	1.2	1.6	2.9	5.1	9.3
⑥40万円以上	0.7	0.3	0.4	0.6	1.7	2.3
⑦想像できない	17.1	12.3	11.8	9.5	4.9	5.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

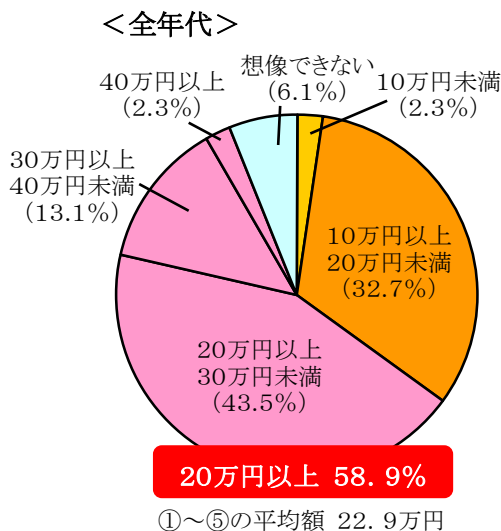
20万円未満 (①+②+③)	76.4	76.3	73.4	67.4	55.4	52.8
②～⑥の平均額	11.7万	12.4万	13.6万	15.2万	18.1万	19.1万

(注) 「②～⑥の平均額」は、各選択肢の中央値(ただし40万円以上は45万円)を用いて計算したものです。

口質問3 老後の生活費が毎月どのくらい必要だと思えますか？
(結婚されている場合は夫婦の合計をお答えください)

(回答者数：16,781名)

- 「20万円以上」と回答した方は、全体の約6割を占める。
- 年代別では、30代以上で半数を超え、60代では7割を超える結果となった。



<年代別>

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
①10万円未満	5.1	3.4	2.1	1.5	1.5	2.1
②10万円以上20万円未満	41.4	39.5	35.1	28.6	23.6	28.1
③20万円以上30万円未満	34.1	40.3	43.7	46.0	47.3	42.4
④30万円以上40万円未満	7.7	8.5	10.6	15.8	20.5	18.9
⑤40万円以上	0.8	1.5	1.9	2.6	3.9	3.0
⑥想像できない	10.9	6.9	6.6	5.4	3.1	5.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

20万円以上 (③+④+⑤)	42.7	50.3	56.2	64.5	71.8	64.3
①～⑤の平均額	20.3万	21.3万	22.3万	23.9万	25.2万	24.2万
質問2の平均額との差	-8.6万	-8.9万	-8.8万	-8.7万	-7.1万	-5.1万

(注) 「①～⑤の平均額」は、各選択肢の中央値(ただし40万円以上は45万円)を用いて計算したものです。

<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>

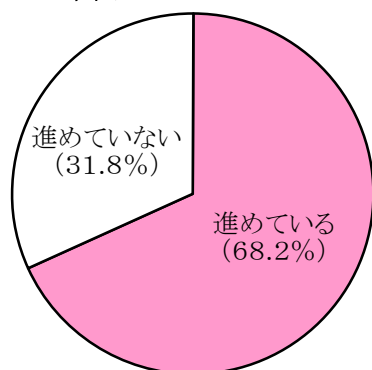
- 総務省の家計調査年報(2013年)によると、高齢のご夫婦の平均では、公的年金が約20万円、生活費が約24万円となっています。公的年金と生活費の差額は、預貯金のとりくずしや企業年金・個人年金等でまかなわれています。
- 現在の年金制度は、年金財政のバランスを取るため、実質的な年金額を段階的に減らす仕組みになっています。今回の結果で若い方ほど年金額の見込みが少ないのは、それに沿った傾向と言えます。
- 生活費の見込みは、公的年金の段階的な削減や若い世代ほど消費額が少ない傾向を反映した結果になっていますが、それでも、いずれの年代でも公的年金だけでは生活費をまかなえないとお考えのようです。公的年金の削減や節約の限界を意識した、現実的で堅実な見通しと言えるでしょう。

□質問4 老後の資金として、公的年金以外にご自身で準備を進めていますか？

(回答者数：16,701名)

- 「進めている」と回答した方は、全体の約7割を占める。
- 年代別では、50代が最も高く(72.0%)、続いて40代(69.5%)が高い結果となったが、全体的に準備を進めていると回答した占率は高い。
- 男女別でも、同様の傾向となった。

<全年代>



<年代別>

年代	%					
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
①進めている	65.1	64.9	69.5	72.0	68.1	51.7
②進めていない	34.9	35.1	30.5	28.0	31.9	48.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<男女別>

	%	
	男性	女性
①進めている	68.8	67.4
②進めていない	31.2	32.6
合計	100.0	100.0

□質問5 主にどのような方法で準備を進めていますか？

(質問4で「進めている」と回答した方への質問)

(回答者数：12,128名)

- 「個人年金保険」と回答した方は、全体の過半数を占める。(55.8%)
- 年代別では、50代以下では「個人年金保険」が最も占率が高い一方、60代以上になると「預貯金」が最も高くなる結果となった。

<年代別>

年代	%						全年代
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
①預貯金	14.2	20.0	23.1	27.7	37.8	44.0	26.0
②株式・有価証券・投資信託	2.7	4.9	6.7	10.2	15.6	19.8	8.8
③資産形成型の生命保険	5.5	6.6	4.5	5.1	5.5	7.2	5.3
④個人年金保険	75.1	65.2	61.7	53.2	35.9	16.7	55.8
⑤その他	2.6	3.3	4.0	3.8	5.2	12.3	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

□質問6 準備を進めていない理由は何ですか？
(質問4で「進めていない」と回答した方への質問)

(回答者数：5,644名)

- 「準備を進めたいが、金銭的余裕がないから」と回答した方は、全体の約5割を占める。
- 年代別では、20代以下では「老後まで、まだ時間があるから」が3割を超え、70代以上では「公的年金で十分だと思うから」の占率が高くなる結果となった。

<年代別>

(%)

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	全年代
①公的年金で十分だと思うから	4.1	3.2	2.9	3.7	7.0	14.5	4.5
②退職金・会社からの年金もあり、十分だと思うから	2.0	3.0	4.4	7.5	13.1	12.3	6.4
③年を取っても働いて収入を得られるから	3.0	2.9	3.8	6.7	7.4	8.4	5.0
④準備を進めたいが、どうしていいかわからない	11.7	13.5	12.8	12.7	8.5	3.6	11.7
⑤準備を進めたいが、金銭的余裕がないから	39.1	51.6	53.0	52.3	44.7	31.8	49.2
⑥老後まで、まだ時間があるから	32.7	17.1	11.8	5.1	2.3	1.4	10.8
⑦その他	7.4	8.5	11.3	11.9	16.9	27.9	12.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

<ニッセイ基礎研究所 中嶋邦夫 主任研究員のコメント>

- 現実的で堅実な老後の見通しを反映して、70歳未満のどの年代でも、老後の準備を進めている方が6割を超えています。今回の調査対象は日本生命のご契約者ですが、一般の方を対象とした(公財)生命保険文化センターの平成25年度「生活保障に関する調査」でも、30代以降で6割を超えています。
- すでに準備されている方の結果を見ると、個人年金保険の利用が多くなっています。この傾向も、前述した「生活保障に関する調査」と同様です。
- 個人年金保険等は、給与引去りや口座引去りによって自動的かつ計画的に老後の準備を出来るのが魅力です。若いうちは老後準備以外の支出が多く、老後まで時間があると思って準備されていない方もおられますが、老後が近づくと毎年の積立に必要な金額が大きくなります。少しずつでも早めに準備していくことが、老後準備のポイントと言えるでしょう。
- 「年金の日」をきっかけに、ご自身の公的年金の見込額を調べたり老後準備について考えてみてはいかがでしょうか。

以上